

女性が女らしさは必要だと答える 3つの理由

The 3 reasons women answer we need femininity

1K06B154

中澤 景子

指導教員 主査 リー・トンプソン先生

副査 杉山千鶴先生

[はじめに]

本論の目的は、女性が女らしさは必要だと答える理由を明らかにすることである。本論を書くと思ったきっかけは、谷口が先行研究で挙げた、人びとが「らしさ」を必要だと答える理由に疑問を持ったことである。女性という立場から疑問を抱いたことと、私自身が女らしさは必要だと考えており、なぜそのように考えているのか考察したいと思った。

[第1章]

谷口の先行研究の概要を紹介した。谷口は、「らしさ」を人びとが必要だと答える理由を述べている。その理由とは、「自分(の行為)が他者に受容されるかどうかかわからないという不安の増大が自己の存在にかかわる問題になっているから」ということと、「従属のなかでむしろ他者の行為(の妥当性)を支配しているというある種の快感がはらまれているから」という、2つの理由である。

[第2章]

谷口が挙げる理由には異性の視線を意識する主体、という視点が抜けていることを述べた。また、男性の視線を意識して女らしく振る舞う自分の姿と、「従属のなかでむしろ他者の行為(の妥当性)を支配しているというある種の快感がはらまれている」という谷口の見解から、女性は女らしさを戦略として用いているのではないか、という考えを導き出した。女性がどのような目的で女らしさを戦略として用いているのか

明らかにすることで、女性が女らしさは必要だと答える理由を考察する。

[第3章]

考察を進めるにあたってまず、1972年に発覚した「外務省機密漏洩事件」において、ある女性が女らしさを戦略として用いた事を示した高橋の先行研究を紹介することで、女性が女らしさを戦略として用いていることを証明した。

[第4章]

「女らしさ=美しさ」と定義した上で、女性がどのような目的で女らしさを戦略として用いているのか仮定して、映画『劇場版 カンナさん大成功です!』の登場人物の行動と仮定を照らし合わせた。その結果、理想の男性を惹きつけるためだけに女性は女らしく美しくなっているわけではないこと、つまり、女らしさを戦略としてのみ活用しているわけではないことが分かった。

[第5章]

女性にとって女らしい美しさはどのような意味を持っているのか、先に挙げた映画を資料にして考察した。そこから、女らしい美しさの戦略とは異なる一面も考慮して、なぜ女性が女らしさを必要とするのか考察できると考えたのである。女らしい美しさは、男性から見た女性の価値であること、「正式な社会の一員として承認され」るために、女らしい振る舞いを修得することが不可欠であること、他者から排除されない

ように、ある一定以上必要であること、卓越した美しさは男性から優遇されること、が分かった。

[結論]

女性が意図的に女らしく美しくなろうとするとき、男性から良い評価を受けて、利益を得ようとしているか、女性として自信を持とうとしているかのどちらかである。そして女らしい美しさは、他者から受け入れられる最低条件という一面もある。したがって、女性が女らしさが必要だと答える理由は、男性から利益を得る戦略として必要だから、女性としての自信を持つために必要だから、他者から受け入れられるために、最低限の必要性があるから、の3つである。どの女性も1つか2つ、または全ての理由に該当するのである。